
瞳は大切

ハニー

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

瞳は大切

【Nコード】

N8621D

【作者名】

ハニー

【あらすじ】

北海道・札幌市に住む中3の女の子森月結姫！そして幼なじみの男の子鎌田魂舞が送る！Love storyだよ。皆見てね！

第一話 Love story

・プロローグ

ある日こんなコトがあった―

【お前に素晴らしいプレゼントを、いつか…】

この一言だった―

夢と希望があればなんでも出来る！

あなたはの瞳は

大切です。

・幼なじみ

私森月結姫は、目覚めた。だって今日は……私の生まれたひよ！誕生日なのよ！幼なじみの魂舞もくるしい♪ラッキー！！

「結姫！もうすぐ誕生会始まるわよ！」あ、お母さんの声だあー

「はーい今行くね！」……とうとう誕生会が始った！私は、なんと少しでも可愛いお嬢様で、あることを……でも、なんか忘れてるような……なんだろう……

「それでは結姫様！最後に一言！」えエ！？ヤバッ！！

「あ……ハイ……とっても楽しかったです。……」

ふう終わったー。

「どうした？結姫？お前顔色悪いぞ？」きゃー！

「ベ……別に……なんも。」恐る恐る答えた。緊張だわ……。私の夢はアイドルだけど魂舞は分かるかなあ？

・迷い

次の日。友達の沙羅と電車で、『渋谷109』に、お買い物しに来た。

「わぁー沙羅見てー可愛い小物がいっぱいあるよ」

「良いわね、お嬢様つてね」悪かったわねお嬢様で…もう私達は、お屋敷へ帰った。

「じゃーね沙羅！」

「バイバイ」この長い一日が終わった…。次の日、学校に行った。もちろん勉強しに来た。確か明日は…修学旅行だぁー！やったーでも明日大雨って言ってたけど…修学旅行中止かも…そんなの関係ねえ…やりたいけど…た、大変だ！…瞳は大切

しばらくすると雨雲が出て来た。ヤッパ明日中止…うっん、金でてるテル坊主100個作んなきゃ！

1時間後

出来たー早く飾んなきゃ！

30分後

これでバッチリね！

「お休みー」

次の日、どうとう大雨が降って来た。ヤッパ今日中止だよ…RRR…電話だ

「もしもし？」

「もしもし？結姫？今日の修学旅行…あるって！」

「嘘でしょ？ええええ！？じゃーね」やったー修学旅行ある！ある！ある！…

「なァーお前。本当に行くのか？本当か？」

「何言つてんのよ。当たり前でしょ？もう魂舞ったら！じゃー行つて来まーす！」

「おい！まで！気を付けろよ。帰ってきたら…お前に素晴らしいプ

レゼントをいつか…な。じゃあな。」「…ドキ…一瞬胸がドキつてしたわ…痛い。。。・沙羅の彼氏

修学旅行で沖縄に変更した。暑いけど楽しい旅行です。

「おゝい沙羅…沙羅？」

「キヤハ あ。おゝい結姫！私の彼氏涼太君よ！結姫も遊ば！」沙羅に彼氏！？嘘でしょ？…私は影でうずくまっていた力ナリありえない！RRRあ。携帯電話だ！誰のかな？どうしよう？出ちゃえ！「もしもし…」

「コラ！涼太！かつてに修学旅行に行くな！今すぐ帰！」ええええ！涼太君の携帯電話なの？どうしよう…

「涼太君！これ涼太君の携帯電話でしょ？」

「あ。お前俺の携帯電話盗んだな！警察官に通報しろ！」

「違うの涼太君の携帯電話を拾ったのよ！」もう皆して私のコトからかつてるの！？皆してヒドい……沙羅まで…もう最低だわ！

・プレゼントって？

「ただいまー。ハアー」

「結姫、どうした？大丈夫か？」

「もうほつといてよ！」私は、影で泣いてた。

「うえゝん皆意地悪！」コンコンん？

「結姫、入るぞさつきは悪い……修学旅行でなんかあったか？」

「別に…」

「俺からのプレゼントさ。」「チュッ！…ドキ…

ええ！嘘でしょ？キスだなんて……何だか大好きになってきた。

「魂舞、大好き！」・いつまでも永遠不滅だよ

今日は、試験の日私と魂舞はいつしよの高等学校に行くんだもん♪

【用意始め】

えーとこれがdで次は…

た、魂舞、速い！【良いわねお嬢様って】なんでこの一言頭の中に残ってんの！？ヤバッ試験落ちちゃう！スラスラ…

次の日、試験発表が待っていた！！

「それでは、行つて来ます」

「頑張つてね。結姫！」

120…ええ！？

「じゃあ俺も行つて来る。」

「頑張つてね。魂舞。」

308…よっしゃ！

おお！結姫だあー

「結姫！試験受かったか！？」

「うっん落ちちゃった……エヘヘ！これが試験ダヨネ！魂舞は受かった？」

「ああー受かったぜ！お前本当に落ちたのか？」

「うん！バイバイ…」私の泣いてる所見られたく無いから。さようなら魂舞。いつまでも永遠不滅だよ！・あとがき

私が『瞳は大切』を書こうとした訳は、とっておきのLovestoryを皆さん教えたかったからです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8621d/>

瞳は大切

2011年1月28日16時02分発行